



有佐小だより

令和4年5月17日

第2号

文責 岩見 浩史

令和4年度グランドデザイン

グランドデザインとは「学校の教育の全体構想」という意味です。年間を通して、どのような学校を目指して、子どもたちにどんな力を、どのような手立てで身に付けさせていくのかを、分かりやすく示したものです。このグランドデザインを学校・子ども・家庭・地域・行政の五者で共有し、それぞれが連携・協働することで実現を目指していくことが大切です。

今年度は、昨年度の学力検査等で本校の課題となった「学習意欲」「学習習慣」の向上のために、「重点的に育成をめざす資質・能力」の中でも、特に「自ら学ぶ意欲」に焦点を当てて取り組んでいきたいと思ひます。

5月10日(火)に行った全校集会でも、「自ら学ぶ意欲」の向上を今年度の目標とすることを子どもたちと共有することをねらって、校長から子どもたちに向けて「『自分で考えて計画を立て、進んで努力する有佐っ子』を有佐っ子の合い言葉にしよう」と話しました。これからの実際の学習指導や家庭学習の指導の中で、「自ら学ぶ意欲」を高める取組を進めて参りたいと思ひます。

ご家庭でも、目標をご理解いただき、子どもたちの「学習意欲」「学習習慣」が向上しますようにご協力をお願いいたします。グランドデザインは有佐小学校のホームページで大きくご覧になれますので、そちらでご確認いただき、ご意見等ございましたら、お気軽に校長にお知らせください。(<https://es.higo.ed.jp/arisaes/>)

令和4年度 八代市立有佐小学校グランドデザイン

- | | | |
|--------------------------|------------|-------------------------|
| ○熊本県教育大綱 | ○県教育振興基本計画 | ○八代市教育委員会学校教育推進の基本方向 |
| ○熊本の学び推進プラン及びアクションプロジェクト | | ◆豊かな心の育成 ◆確かな学力の育成 |
| ○県教育委員会各課取組の方向 | | ◆健やかな体の育成 ◆チームとしての学校づくり |
| ○八代教育事務所取組の重点 | | ◆地域とともにある学校づくり |

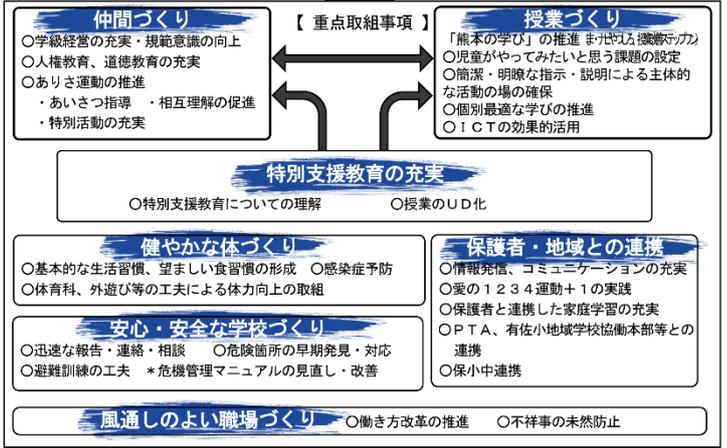
【学校教育目標】

心豊かで、進んで学び、ふるさとを愛するたくましい有佐っ子の育成

【めざす学校像】 児童も職員も目を輝かせて生き生きと学び、保護者や地域から信頼される学校 ○成長ややりがい、自己効力感が感じられ、他者と協働できる学校 ○うるおいのある環境が整備され、安心・安全な居場所がある学校 ○保護者・地域とコミュニケーションを図り、連携して取り組む学校	【めざす児童像】 心豊かで、進んで学び、ふるさとを愛するたくましい子ども ○自ら進んであいさつし、感謝の気持ちを持つ子ども ○思いやりがあり、互いを理解し、自他の命を大切にす子ども ○自ら学びに向かい、学びを活かし、つなげる子ども ○学校を愛し、地域を誇りに思う子ども ○心身を鍛え、笑顔あふれる元気な子ども	【めざす教職員像】 「チーム有佐」の一員としての誇りをもち、謙虚に学び続け、指導力向上に努める教職員 ○「くまもとの教職員像」に示された基本的資質と専門性を常に磨く教職員 ○違いを認め合い支え合う仲間づくりに意欲的に取り組む教職員 ○主体的に学び充実感のある授業づくりに意欲的に取り組む教職員
---	---	---

【重点的に育成をめざす資質・能力】

- 自ら学ぶ意欲……興味・関心を高め、目標をもって主体的に学びに取り組む態度
- 学びを活かす力……問題解決のために情報を活用したり既習事項を活かしたりする力
- 伝え合う力……互いに自分の考えを伝え合い、考えを広げたり深めたりする力



命を守る避難訓練

一昨年の熊本豪雨は、まだ記憶に新しいところです。ニュースで今年は6月1日頃に梅雨入りの可能性があるかと報じていました。いざというときに子どもたちの命を守るためにも、備えておくことが大切です。そこで、本校ではできるだけ早く保護者との連絡体制を整備し、避難訓練を実施するように計画しています。早速5月6日(金)には、大雨を想定しての引き渡し訓練を実施しました。保護者の皆様には大変お世話になりました。また、



地域の見守り隊の方々にも交通誘導のお手伝いをしていただきました。ご協力ありがとうございました。今後「マイ・タイムライン」の作成も行っていただく計画ですので、よろしくお願ひいたします。

スマホ依存・ゲーム障害から子どもを守る

「スマホ依存から脳を守る」(中山秀紀著・朝日新書)という本を読みました。スマホ(インターネットゲームなどができるゲーム機等も含みます)は、「最強の依存物」と、久里浜医療センター精神科医長の著者は述べています。やめようとしても「離脱症状」のため、やめることは大変困難で、未成年者の依存症は、大人よりも深刻化する可能性が高いそうです。子どものうちに「我慢する心」をつけておくことが重要だと感じました。